

## 健診の会場で広報しています！

平成 25 年 9 月から母子健康手帳交付時、4 カ月健診時（中央保健福祉センターのみ）での広報活動を開始しました。先輩ママの提供会員さんが登録や利用について説明しています。9 月から現在までに会員数は 700 名増という成果。

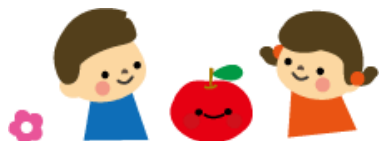
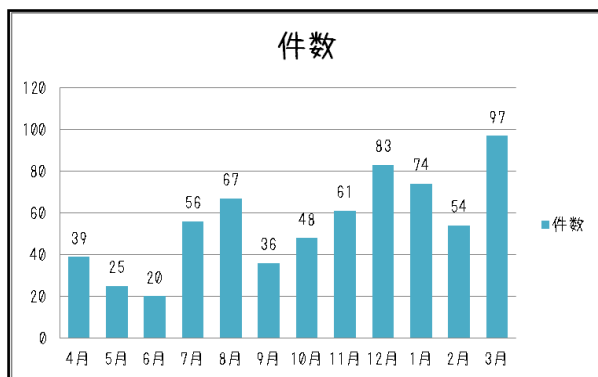
「大変な時（概ねお誕生から 1 歳までの集団保育が困難な時期）には知らなかった。知っていれば利用したのに。」の声にお応えできて良かったと思います。もし、センターで広報活動見かけたらお声かけ下さいね。会員さん頑張っています。



【会員数：平成 26 年 5 月 10 日現在】

提供会員	181 名
両方会員	50 名
依頼会員	1462 名
合計	1693 名

【利用件数】12 月以後順調な伸び。



【利用内容】

☆送迎がダントツ。

ご存知のように佐世保ファミサポでは送迎は「徒歩または公的交通機関利用」です。

ファミサポ利用がきっかけでバス利用ができるようになったお子さんもいます。

## ファミサポは子どもたちが人と地域社会に出会うチャンス

☆通学時のママの利用も目立って増えています。主に 30 代ぐらいの方。転職希望やスキルアップなどのため。結婚・出産での女性の離職は今後減少、そして再就職の時期も早くなるのかな。支援の現場の実感です。

## 依頼会員向け電話アンケートの報告（H25. 12 月実施）

アンケートのきっかけは「ファミサポ佐世保って利用件数少ないよね」のお声から。確かに。そこで約 200 名以上の依頼会員さんにアクセスし 80 名の方からご回答。結果「何かの時に利用するかも、と登録したけど結局利用の必要がなかった」という方、次いで「利用方法が分からない」というお答えも多々。子どもさんがよく泣くので申し訳ないという方もいました（泣いても大丈夫ですよ）。

🍀 利用方法が分からない…電話・メールでの問い合わせだけでも OK

🍀 例えば、毎回違う提供会員さんだと不安

実は、多くのケースは 2 人から 3 人の方での対応になります。複数の会員さんご紹介はご要望に確実にこたえるためには必要なこと、でもだからと言って毎回違う提供会員さんになるようなことは特別な場合を除いてそうありません。お聞きしていくとこのように、情報が正しく伝わっていないことも見えてきました。

🍀 事故が心配

他の地域のファミサポで深刻な死亡事故が起きました。またベビーシッターによる虐待死事件も起きて一層不安の声がありました。「必ず事故は起きるもの」事務所ではいつも合言葉にしています。

災害時の対応と同じで、いつも心がけておくこと、訓練をすることで事故を予防し続けていく、それがベターな方法と考えています。提供会員さんはもちろん、依頼する方々にもお子さんの体調管理、確実な情報提供などをお願いしています。今後ともご協力をお願いします。

やはり、気持ちのつながりと信頼関係が利用のポイントでした。

利用される会員さんの声からは、最初は不安、でも事前打ち合わせがあって安心できた。手間がかかると感じたが、くりかえし利用し始めるとそうでもない。

よく利用される方は「子どもも自分も安心できる」そして「思ったより子どもがたくましいと感じる」といわれます。子どもさんの預かりを通してコミュニケーションを重ねて、提供会員さんは依頼会員さんにとって、信頼できる子育てのパートナーの一人になるのだと思います。

皆さんからの声から得るものがたくさんあった調査でした。結果を大切に受けとめています。ご協力に感謝申し上げます。